

2015.9
137
号

りべら

りべら
2015.9
137
号



実行所・公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団）
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階

IATSS (公益財団法人 国際交通安全学会) を通じて
アジア諸国から研修であおぞら財団に。

特集: どうする、どうなる西淀川

にしよどがわ座談会...1

区民の声...5

あおぞら財団が考える将来...7

自転車の国際会議で「御堂筋サイクルピクニック」を
報告してきました...9

忙中一筆 永井健太...10

記憶あつめ隊...11

ぶらりとゆるりと西淀川めぐり...12

被災地の未来を考える 最終回...12

りべら読者アンケートの結果...14

あおぞらフォトギャラリー



「たーまや〜」。淀川花火の観賞会をみてアート
実行委員会があおぞらビルの屋上で開催し
ました。みてアート（御幣島芸術祭）は11月7日
（土）と8日（日）にJR御幣島駅周辺の各拠点で開催します
ので、どうぞおたのしみに。（2015.8.8）



呼吸ケア・リハビリテーション教室「楽しく呼
吸会」で矢倉緑地公園へ行きました。近いよ
うで遠い西淀川区のはしっこで、気分リフレッ
シュ。（2015.5.21千北診療所/5.22姫島診療所）

お知らせ

●ニシヨドガワ ノラシゴト 収穫体験

日 時: 2015年10月17日(土) 10~14時
場 所: (株)ニチノサービス敷地内の造成畑
(西淀川区佃5-2-30、千北橋を北に渡ってすぐ)
内 容: サツマイモの収穫体験(トウモロコシもあるかも?)
準備物: お弁当、軍手、長靴、
参加費: 1人100円(保険代)
定 員: 20家族・グループ
切 日: 10月13日(火)
申 込: 参加者全員の氏名、住所、連絡先を下記まで
TEL 06-6475-8885
MAIL aozorazaidan+nora@gmail.com
主 催: エコでつながる西淀川推進協議会

●にしよどがわのかわいい鳥を見に行こう

日 時: 2015年10月24日(土) 10~12時
集合場所: 阪神なんば線「福」駅
内 容: 海や川、干潟や緑地。変化に飛んだ土地があるため
様々な野鳥が集まる西淀川での子ども・初心者向け探鳥会です。
そろそろカモが渡ってくる季節...どんな鳥に出会えるか
お楽しみに!
協 力: 日本野鳥の会大阪支部
参加費: 100円(保険代)
申 込: あおぞら財団まで
※ドコモ市民活動団体への助成(環境分野)事業

●関西×東北 応援ツアー2015

日 時: 2015年11月27日(金)~29日(日)
集合・解散: 仙台駅周辺
内 容: 下記2コースからお選びください。
・ボランティアセンター1泊体験コース 32,000円
(滞在費として2000円寄付金含む。もう一泊は宝来館)
・浜辺の料理宿・宝来館2泊コース 38,000円
企画・呼びかけ: あおぞら財団
現地コーディネート: 三陸ひとつなぎ自然学校
旅行企画実施・申込先: 岩手県北観光 0120-183-705
http://www.kenpokukanko.co.jp/

あおぞら財団とは

〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
(TEL)06-6475-8885 (FAX)06-6478-5885
電子メール: webmaster@aozora.or.jp http://aozora.or.jp/

1960年代から問題となった大気汚染公害によって、多くの人が健康被害を受けました。その責任を問う西淀川公害裁判(1978~1998)では公害患者が勝利しました。患者は「手渡したいのは青い空」を願い、裁判の和解金の一部を使って1996年にまちづくり組織・あおぞら財団を立ち上げました。まちづくり・資料館・環境学習・公害患者の保健・国際交流の事業を行い、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

あおぞらビル

【1F】地域交流スペース「あおぞらイコバ」
会議、ギャラリー、コンサート、上映会などに利用いただけます。
午前:1,000円/午後:1,300円/夜間:1,300円/全日:3,000円
【5F】西淀川・公害と環境資料館(エコミュージズ)
西淀川公害や環境について、地域の歴史などが知りたい人は
ぜひお越しください。
開館日 月曜日と金曜日(10:00~17:00)/要事前電話予約
●いずれも、予約・お問い合わせは4F事務所へ

会員・寄附募集

あおぞら財団への寄附や賛助会費は、税制上の優遇措置があります。
●賛助会員 会員の方には機関紙「りべら」などをお送りします。
【年会費】個人:年一口5,000円、学生:年一口2,000円、
法人・団体:年一口10,000円
●会費・寄附の振込先
*郵便振替口座 00960-9-124893 加入者名:あおぞら財団
*三菱東京UFJ銀行 歌島橋支店 普通 3764689
口座名義:あおぞら財団賛助会員

●開催日
2015年7月9日

●出席者
西淀川区長 西田 淳一氏
大阪市会議員 荒木 幹男氏
大阪市会議員 佐々木 哲夫氏
大阪市会議員 徳田 勝氏

●司会
あおぞら財団事務局長 藤江 徹

「まず1つ目の質問「これから西淀川区において注力したい活動、事業、政策など」についてお聞かせ下さい。」

西田区長「東京から大阪にきて『基礎的なインフラとしての緑化政策が遅れてるなあ』と。やっぱり、住んで楽しいと思えるインフラがなかったら、みんなの心はいままでたっても元気にならないんじゃないか、そんな思いから『緑と花にあふれたまち』、これを絶対に掲げようと思いました。それで、着任当初から『安心安全に楽しく暮らせるクリーンにしてグリーンなまち』、『西淀川』をスローガンに区政を進めるために『クリーンにしてグリーンなまちづくり課』を新設しました。

今では、ずいぶん馴染んで『クリグリ課』って呼んでもらっています。花と緑に溢れるまちづく

り、乳幼児子育てサロン、高齢者の寝たきりにならない／させない事業、ハローワークと連携した就労支援強化、防犯カメラの増設、バリアフリーや災害時の障害者／要援護者への施策を実施してきました。必要な予算が十分でなかったり、きめ細やかな施策がなかなか打てなかったりもしましたが、これらは絶対に継続していきたい。

（荒木議員）力強い活力ある町にしたい。その鍵は、西淀川の地歴を考えると『ものづくり』だと思っています。昭和30年ころ、人口が約22万人、中小企業が2000〜2500社あり、そこで8万人が働いていた。合計すると、昼間人口は30万人。当時は、散髪屋さん、ごはん屋さん、お風呂屋さん、たくさんあった。そんなところから町の活力は生まれるんじゃないかと思えます。昼間人口が今、3分の1ぐらいに減っています。

だから、まずはものづくりの面白さをみんなに知ってもらうことが重要で、ものづくりフェ

アも充実させていきたい。また、区内には西淀川高校や淀商業高校もあるので、一緒になってものづくりに取り組んでいきたい。

また、西淀川区は大阪市の西端にあつて西の玄関口。だから歌島橋バスターミナル跡地の有効活用は大事なことで、塚本駅前にある赤いオブジェとか、西淀川区の看板のようなものを作れば、区としてのグレードがあがつていくと思います。あとは、こうしたものづくり分野の旗振り役、指揮者になる人を育てていくことも重要でしょう。

（佐々木議員）元気な町、人が集まる町、住みたい町を作りたい。そのためには、やっぱり働く場所が必要。西淀川区はものづくりの町で、世界一の技術をもった会社だつてある。だけど、区民にあまり知られてないし、大阪市民も知らない。大阪で『ものづくりの町』といえば、東大阪とか大正区だと思われているけど、工業団地があるのは市内では西淀川区だけ。大



藤江徹事務局長

機関誌「リベラ」の特集企画として西淀川区長と、西淀川区選出の大阪市会現職議員3名、荒木議員、佐々木議員、徳田議員にお集まり頂き、地域の将来を語る「にしよどがわ座談会」を開催。ここでは都構想の是非ではなく、これからの西淀川区について率直にお考えや思いを伺っていききたいと思います。

にしよどがわ座談会



向かって左から、あおぞら財団 村松理事長、佐々木議員、西田区長、荒木議員、徳田議員、あおぞら財団 藤江事務局長。

2015年5月17日、「大阪都構想」を問う住民投票（特別区設置住民投票）がありました。この結果、「反対」が70万5585票と多数となった一方で、「賛成」が69万4844票と僅差。これは『大阪をなんとかせなあかん!』という民意の現れだったと思います。今後、この大阪の端っこにある西淀川はどうなるのか、そして区民がどうしていくのか…。そこで本特集では、西淀川区に関わる様々な方から将来についてご意見を頂き、紙面を通じて考えたいと思います。



西田淳一 区長

生るときに社会科の
すいアピールポイント。小学
境を考えると、緑道は。これは
なっています。緑道は。これは
ね。環境や植生の変化を見て環
境を考えると、緑道は。これは
なっています。緑道は。これは
すいアピールポイント。小学

（佐々木議員）矢倉公園や緑道
で、セミの抜け殻調査やタンポ
ポ調査などをやっていますよ
ね。環境や植生の変化を見て環
境を考えると、緑道は。これは
なっています。緑道は。これは
すいアピールポイント。小学

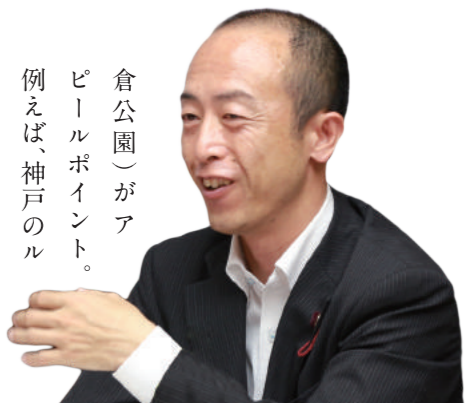
（徳田議員）小学生の時に緑道
ができて衝撃でした。ものすご
いきれいなオレンジ色の道路
ができて、公害から変わる象徴
だったと思います。当時は公害
で酷かったけど、振り返ればこ
れだけ綺麗になった緑を環境
教育に使えるのではないで
しょうか。当時の子どもは40代以
上の大人になっていて、その頃の
記憶もあります。子どもたちへの
教育に使えらると思います。それか
ら、大阪市内をみても矢倉公園は
アピールできる場所で、ここに
は人が集まってくると思います

（西田区長）今後、力を入れてい
きたいことは、災害の対策、想
定内の災害リスクを0にする
ことには絶対にはやらないとい
けない。そうでなければ区民は安
心して住めないし、新しい人も
きてくれない。
それと、やっぱり神崎川。工業
で発展した町が自然をよみが
えらせる、これは西淀川区民に
とって、あるいは大阪市民に
とって、ひとつの責務だと思
います。そのひとつの取り組みに
神崎川を挙げて、西淀川区だけ
でできることではなく、尼崎市
や兵庫県などみんなが協力し
たりできると思います。
ものづくりについては、西淀川
工業協会などとじっくり話し
合いながら、例えば3Dプリン
ターなど次の伸びゆく部品産
業にみんな集中して取り組ま
なければならぬと思いま
す。そのためには、住工の住み
分け。今の混在のまま
だとこの先、例え注
文が増えても、21時
以降は操業できない
など限界もあり、この町の魅
力も高まっていかないと考え
ています。



佐々木哲夫 議員

（荒木議員）交通政策から町を
活かす。USJから緑道の上を
モノレールをずっと引く張っ
てきて、塚本駅につなぐとか、
夢みたいな話だが、10年後こん
なことができていたら面白い。
佃地区では、神崎川にかかる阪
神電車の鉄道橋の横に人道橋
を作って、歩いて出来島地区に
いけるようにしてほしいなど



徳田勝議員

倉公園）がア
ピールポイント。
例えば、神戸のル
ミナリエにも引けをとらない
ようなクリスマス・イルミネー
ションを緑道でやるとか、何か
有名なもの、名物になるものをつ
くっていききたいと考えていま
す。

（徳田議員）1つ目は、安心安全
に暮らせる町にしていきたい。
西淀川は工場と家が混在して
いるので、地域のつながりをつ
くっていくことが大事。みんな
で地域のことに関わっていく、
そんな温かみのある町にして
いきたい。そうすることで、自
分の町に誇りを持って暮らせ
ると思います。

2つめは、賑わいの創出。西淀
川区はものづくりの町として
の側面もあるけれども、もしか

したら観光宿泊エリアや商業
地として生かせないだろうか
と考えています。例えば、すぐ
近くにUSJがある。西淀川区
は地理的にとても近いので宿
泊地としての価値があると思
います。また、新しく作るばか
りでなくて、今あるものをもつ
と活用することもありだと思
います。例えば、矢倉公園に
もつとアクセスしやすくすれ
ば利用が促進されるだろうし、
そこから緑道なんか環境教
育の場としてつながっていく
んじゃないでしょうか。

（西田区長）神崎川の再生です。
大気汚染は以前からすると回
ると思います。
お考えでしょうか？

（徳田議員）川沿いの需要があ
ります。昔、淀川にはロープ
を張った天然プールがあった
んです。此花区側の以前にラ
サ工業があったあたり。よく泳
ぎに行っていたんです。監視員
か誰かに30分ごとで友達が
いられるか確認されて、いたら
「よっしゃ、ほなおよげ〜」と
いわれてね。



大野川緑陰道路

復した面もあります。神崎川
はどうだろうか？『子どもたち
が泳げる』とまでは行かないま
でも、例えば神崎川の浚渫を
やって、きれいで区民が憩える
水辺に戻す。そんな風に水辺を
楽しめる形にした時に、本当の
意味で区民が集える町に再生
したと言えるんじゃないだろ
うか。これは、行政の責任でも
あり、我々世代の子どもたちへ
の責務だと思います。

（荒木議員）昔、大野
川に掛かっていた
八丁橋を通過して、
八丁温泉によく行
きました。その大
野川も昔はドブ川だっ
たけど、これを埋め立てて緑道
ができました。西淀川区民の悲
願でした。第1回区民まつりは
緑道でやったんです。提灯を
吊ったのでよく覚えていま
す。環境再生も具体的にテーマ
をひとつずつ掲げて、
再生活動に取り組まな
ければ進まないと思
います。以前に、川での賑
わいをと考えて、淀川
の川敷でロックフェス
ティバルができないか
と考えた時期あって、
場所や資材はなんとか
なりそうでしたが、駐
車場の確保が問題で実
現しませんでした。

（西田区長）もし、矢倉緑
地公園がきちんと整備
できれば、そうした面
白い使い方ができるか
ことは絶対にはやらないとい
けない。そうでなければ区民は安
心して住めないし、新しい人も
きてくれない。
それと、やっぱり神崎川。工業
で発展した町が自然をよみが
えらせる、これは西淀川区民に
とって、あるいは大阪市民に
とって、ひとつの責務だと思
います。そのひとつの取り組みに
神崎川を挙げて、西淀川区だけ
でできることではなく、尼崎市
や兵庫県などみんなが協力し
たりできると思います。
ものづくりについては、西淀川
工業協会などとじっくり話し
合いながら、例えば3Dプリン
ターなど次の伸びゆく部品産
業にみんな集中して取り組ま
なければならぬと思いま
す。そのためには、住工の住み
分け。今の混在のまま
だとこの先、例え注
文が増えても、21時
以降は操業できない
など限界もあり、この町の魅
力も高まっていかないと考え
ています。



荒木幹男 議員

藤川 美保さん
(西淀川区佃地区、約20年在住)



【西淀川の好きなところ】
自宅マンションからみえる西淀川のまち

地域って大事だなーって思う

結婚を機に西淀川区に来て、もう20年ぐらいになるかな。振り返ってみたら、子育てを通じて「町を知った」と思います。特に、PTA活動。小学校で役員を4年間していました。最初は「面倒だな～」と思うこともあったけど、色々と行事や活動をしていく中で、学校やPTAだけできるとなると少なくて、町会とか地域の方々に手伝ってもらわないとできないことがいっぱいなんで、それまで知らなかったおっちゃん、おばちゃんにも出会いました。それから、ご近所付き合いも増えて、人も町も知るようになりました。“地域”って、いろんなことを分かち合ってる大事ななって思います。西淀川の10年後って言われたら、この地域のつながりがずっと続いていたらいいなと思います。とって住みやすい町なんで、色々な世代の人が住み続けていけたらいいですね。

西淀川区民のお二人に「10年後にどんな町にしたいですか」って聞いてみました。

西川 日奈子さん
(西淀川区御幣島地区、
生まれも育ちも西淀川)



【西淀川の好きなところ】
夕陽に照らされて歩く時間の、
自宅への一本道は
いつもふとなつかしい。

「しんどい状況の人」が声を出してもいい町になってほしい。子どものころ、父親と一緒にプラプラと商店街を歩くのが好きで、よく人に声をかけられたな。でも今は、声を掛ける方も掛けられる方も「何かあったらイヤだな」って人と関わらないようにしている気がします。温かい関わりがもっとも必要で、シングルマザー、貧困を背負った子どもたちとか「しんどい人」が実はいっぱいいるんですよ。これから西淀川がどんな地域になったらそういう人たちが『声を出していいのかな?』『出てみようかな?』って思えるのか、すごい難しいけど、いつも考えています。たしかに、町に商業施設とかができて人が賑わうことも大事かもだけど「人のしんどさ」に着目した政策やまちづくりこそを進めてほしいなと思います。



（西淀川市長）たぶん、中小企業のオーナーの方々が西淀川に住んでいないことも一因なのかも知れません。経営者は芦屋、

それがなくなってしまうのは、企業の元気がなくなってきたて旗振り役がいなくなってきたからですか？

（荒木議員）昔はね、西淀公園で

主催して企業の出初め式があった。災害が起こった時の話し合いを企業ともしていた時もあったんです。

（佐々木議員）単純に好き。何よりも住みやすい。好きになる町を作っていくのがいい。例え外に出ていって帰ってくる。好きの根底には誇りがある。こういうのを醸成していければいいと思います。結びつきがあるのが、西淀川の強みだよ。

中に色々な会社をもっと巻き込んでいる状態がよいと思います。あらゆるところで地域住民と交流があったら、行政がそれを後押しするイベントなどをやっていくといいと思います。地域のコミュニケーションを強化することで、それが災害が起こった時に単なる資材の提供だけではない支援につながるのではないのでしょうか。日頃からのつながりが大事だと思います。

西宮にお住まいになり西淀川は単にものを作る「工場」の場所になっていくのだからと思っています。

（佐々木議員）そうなるかと中小企業です。中小企業は地域に入っていて、地域と結びつきが強い。つまり、中小企業が強く

なると、地域も強くなる。地域も一緒に強く元気になっていく。行政が中小企業支援策を進めることは、結果的に地域強化にもつながる意味もありますよ。

（荒木議員）西淀川には日本で最初にカレー粉をつくった会社と聞いているハチ食品もあります。

西淀川の企業の魅力をもっと引き出していければいいですね。

（徳田議員）西淀川は便利で西日本最大のターミナル梅田までひと駅で行ける、あらゆると

にすぐに行ける。でも賑わいがない、拠点になって集まれる場所がない。大阪市の西側に位置する西淀川エリアは、10年後、観光・宿泊など受け皿になって、賑わいの拠点がある町にしたい。

それは、結果的に雇用の確保につながると思います。

（徳田議員）10年後の西淀川に話を戻すと、少し観点を替えて、ものづくりの町を活かして地域の

（佐々木議員）まさに、西淀川ブランドをつくることですね。

（西淀川らしさ、西淀川ならではの

特徴）おそろ財

団も皆さんと連携しながら

うしたお手伝いをしていき

たいと思います。ありがとうございます。

（荒木議員）その昔は、今の西大

阪病院は西大坂ホテルだった

んですよ。1階が「グランド

阪（洋食レストラン）」で、大

切なお客さんがきたらエビフ

ライをよく食べに行つたも

んですよ。その周辺に、いわ

たや旅館なんかもあって宿

泊にみんなよく使っていました。

（佐々木議員）そんな西淀川

くささ、下町っぽさ、が逆に今は

観光客にウケるんじゃないか

な？裏道を行きたがってる

って言いますしね。実は、うちの

近所のたこせん屋がテレビで

紹介されたあと有名になった

隠れた名所をアピールするこ

とで、名所になるんですよ。



約20年たった今では こんな「つながり」がうまれました

特集
どうする、
どうなる、
西淀川
地域の将来



西淀川スタディーツアー

あおぞら財団附属西淀川・公害と環境資料館エコミューズでは、地域の方々と巡りながらまちづくりを考えるツアーをおこなっています。



御幣島芸術祭～みてアート

西淀川で創作活動をする方々によって町の賑わいを取り戻し、町に眠るモノ・ヒトを宝物に変えます。



おもしろいわ西淀川

何気ない風景に隠れている西淀川らしいモノを区民自らが掘り起こし「いいね!」します。



ニシヨドガワノラシゴト



農地のない西淀川でみんなで土をつくり、タネをまき、育てて、収穫します。

あおぞら野菜市



地域の交流拠点「あおぞらイコバ」で、地域の方が安全・安心・新鮮な野菜を地域の方に販売します。

親子ハゼ釣り大会



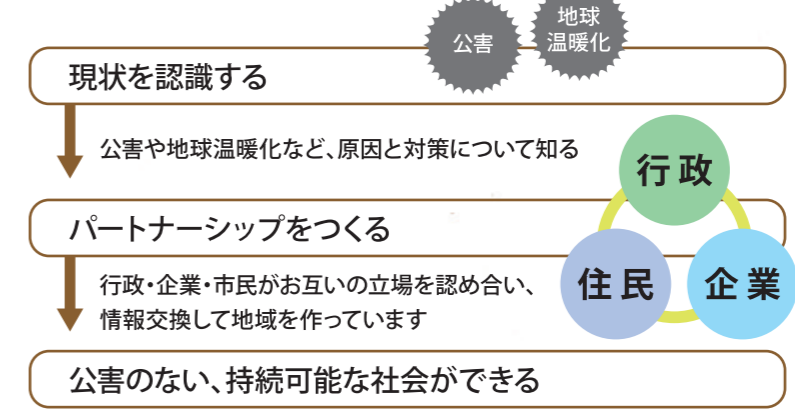
地域の自然を感じてもらうことを目的に、西淀川区役所を中心に実行委員会を立ち上げて毎年秋に開催しています。釣った魚はその場で捌いて食べたりも!

20年前の再生プラン

あおぞら財団では、西淀川の患者さんらが1991年、今から24年前に描いた町の将来像を実現することを出発点に活動してきました。

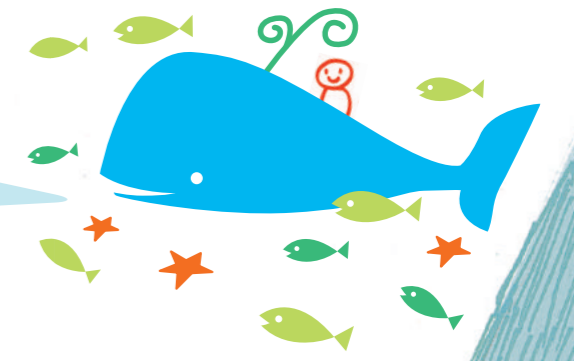


公害地域の再生のために



西淀川区のみなさんとこんなにたくさんの「つながり」がうまれています。これからの西淀川は、こうした人と人のつながりを基盤にまちづくり、西淀らしさを探求していきたいと思えます。

私たちは、良い環境が持続する社会、つまり人と人のつながり、パートナーシップの再生をめざして活動しています。



あおぞら財団が考える将来



2015年6月2日~5日

自転車の国際会議で「御堂筋サイクルピクニック」を報告してきました



幹線道路の脇につくられた自転車道(ナント市内)



市民も参加する自転車パレードは、いろんな自転車に乗った老若男女がナント7,000人! 親子や子どもの参加が多かったのが印象的。

自転車の国際会議ヴェロシティ2015が、6月2~5日の4日間、フランスのナント市で開催されました。自転車を普及したいと考えている行政、企業、NGO、研究者などが世界各国から参加し

ている。私は、大阪の自転車事情に始まり、あおぞら財団が事務局を担っている「自転車文化タウンづくりの会」「御堂筋サイクルピクニック」など市民からの取り組みを報告しました。すると、「大阪ってそんなに自転車使ってるの?」と驚かれました。ヨーロッパをはじめ、海外の各都市は、交通手段としての自転車を政策的に普及しようとしています。自転車分担率などの目標を定めて、自転車道や駐輪場等の整備、自転車教育などを総合的に進めています。



さまざまな展示ブースが並び会場内。

ちなみに、ナント市(28万人)の自転車分担率は目標4.5%ですが、大阪市内(260万人)は既に28%。利用だけを見れば、大阪は既に世界的な自転車都市なのです。同会議では、観光ツアー、インフラ整備、都市計画、ビジネス、自転車文化など、様々なテーマの分科会が行われます。お国の事情や交通環境は異なりますが、「自転車っていいよ

ね!」「うちはこんなやってるよ」と報告しながら、互いに協力し合って、自転車の利用を進めていこうという雰囲気です。また、アートやグルメに絡めた自転車ツアー、市民も参加する自転車パレード、企業による展示会も行われ、様々な「自転車の楽しみ方」を体験できる場になっています。参加してみても、自転車って様々な可能性を秘めている乗り物だと改めて実感。既に利用者が多い日本でも、自転車は転換期にあります。暮らしを豊かにするために「自転車をどう使うのか?」を考える中で、本当の意味での自転車先進国になれるのだと思います。来年は、アジア初となる台湾で開催されますので、世界の自転車事情に興味のある方は是非ご参加ください。

※1 ヴェロシティ (Velo-city) とは?

- 主催: ECF(ヨーロッパサイクリング連盟: 40カ国以上、80以上の参加団体が加盟)
- ヴェロシティは、日常的な移動やレクリエーション、そして、自転車に関連する政策、についての専門的技術、良い事例、知識、ビジョンを話し合うための世界的なプラットフォームとして年1回開催されています。
- ヴェロシティ2015HP <http://www.velo-city2015.com/>

※2 御堂筋サイクルピクニックとは?

- 主催: ECF(ヨーロッパサイクリング連盟: 40カ国以上、80以上の参加団体が加盟)
- 御堂筋に自転車レーンをつくらうと「ちゃんと走ろう」をアピールする自転車イベント。歩行者も自転車も安心して通行できる環境づくりを求めて、2011年から年2回(春・秋)開催し、次回で9回目。
- 御堂筋サイクルピクニックHP <https://cyclepicnic.wordpress.com/>



Midousuji Cycle Picnic 発表中。

忙中筆

「先生、なんでなん?」が聞きたくて

西淀川区の公害学習に取り組んで

「西淀川区の公害」の授業に取り組もうとした動機

「先生なんでなん?」そのように、疑問をもって学習に取り組む子ども姿が見られるように、日々、教材研究をしています。昨年度私は5年生の担任をしていました。5年生の社会科の学習では公害を扱う単元があるのですが、教科書では西淀川区の公害ではなく、琵琶湖の水質汚濁のを取り上げています。もちろん大切な内容なのですが、私の教える大阪市内の学校では、多くの子ども達は琵琶湖を見たことがありません。「もっと身近なことで子どもたちが興味をもって学習できる内容はないかなあ」「やっ

ぱり大阪のことを学ぶのがええなあ」と考え、行き着いたのが西淀川区の公害について教材を開発することでした。

授業の準備について

はじめは図書館へ行き、書籍をもとに大阪の公害の歴史について調べていました。でも、授業で使いやすい、子どもにもわかりやすい内容の資料は見つかりませんでした。そこでインターネットで調べてみたところ、あおぞら財団さんのページをみつかることができました。そこには、すぐに授業で使えるような資料が豊富にあったのですが、資料館があるということを知って、すぐにあおぞら財団

子ども達の反応

さんへ向かいました。そこでパネルやDVDを借りたり、インターネットでは知ることができなかったことを教えていただいたりして、授業の準備を整えることができました。



毎時間、子どもたちに写真や文書資料を見せるたびに驚きや疑問が生まれました。「なんでこんなに空気が汚いの? 今と全然違う」「この時住んでた人たちはどうやって暮らしてたん?」「私やったら絶対に怒るわ! 許せへん!」子どもたちは身近な地域で公害の被害があったことを知り、様々なことを考え、話をしていました。最

授業をふりかえって

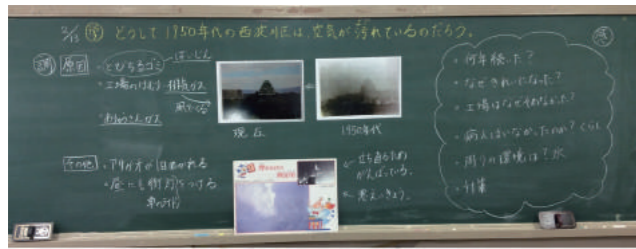
後の学習の時間では、「今の環境があるのは、昔の人の努力のおかげやから感謝する」といった意見や「まだ、完全にきれいな環境とは言えないからこれからも気をつけて生活する」といった、自分の生活に引き寄せて考えることができる子どももいました。

色々な考え方や新たな視点を得ることができました。この経験と出会いをいかして、さらに公害の学習が充実したものになるようにしていきたいです。



永井健太 (ながい けんた)

大阪市立磯路小学校教員。大阪市教育研究会社会科部在籍。教員生活7年目。日々子どもの「もっと知りたい」を引き出せるような授業作りに取り組んでいる。



(イラスト:とりやまひろこ)

burari yururi

第14回 **ぶらりとゆるりと 西淀川めぐり**

みんな大好きおやつ時間
子どもも大人もおやつを食べて、ほっと一息つきましょ。

所 西淀川区千舟2-2-6
休 火曜日
営 10:30-19:30 (売り切れ次第終了)
☎ 06-6476-3622
F 「よだもち」で検索

レモンロール・焼き菓子の店
「大人のおやつ ANCO」

青地にオレンジの猫の顔「ANCO」の看板を目印に、お店に入るとふんわり甘い香りに包まれます。酸味のきいたクリームたっぷり「レモンロール」は広島県の大長レモンを使用。歯ごたえのある「グラノーラクッキー」や半凍りで食べるのがおススメの「スティックタルト」などが並びます。そして「気まぐれパンプリン」はパンとプリンのにっしょりコラボでなつかしいお味。

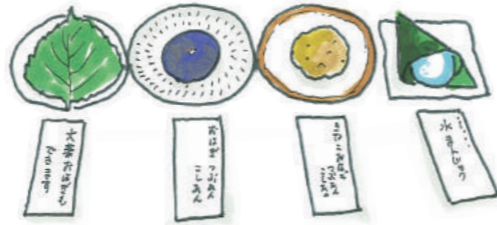


所 西淀川区姫島5-10-30
休 月・火・日 (イベント出店のため臨時休業有)
営 11:00-19:00
☎ 070-5044-8964
F 「ANCO」で検索



わがし屋よだもち

カラカラと扉を開けると、「おだんご」、「おはぎ」、「三笠」といった定番ものと、「ちまき」や「水まんじゅう」など季節のお菓子がやさしく迎えてくれます。「おだんご」や「おはぎ」は注文を受けてから奥の厨房で作ってくれるので、できたてを味わえます。「高級和菓子ではなく、フツーのお菓子を作りたいんです」と店主。あぁ、なんてありがたい。



震災から4年半～復興と未来のはざままで

先日、ひときわうれいことがありました。「廃油回収にきました！」私たちはいつもにまして弾むように声をかけ、門をくぐりました。そこは釜石の市街地に再建されたばかりの「釜石こども園(前釜石保育園)」。ピッカピカの園舎に子どもたちがかけまわり、給食室からは美味しそうな香りが漂っていました。釜石保育園は3.11の被災で全壊。その後一ヶ月も経たないうちに仮園舎で保育をスタートさせ、先生方は大変な思いをされた

にも関わらず、子どもたちを守り、親御さんと向き合い、喜び悲しみを共に走り続けてきました。そしてその間ずっと廃食油を集めて連絡を続けてくれたのです。その日々の姿に、大切なものをどれだけもらったことでしょうか。ついに完成した新しい園舎は、すでに多くの人々の思いにあたたかく包まれています。ほんとうの復興とは。明確な答えも、ゴールがあるわけでもありませんが、創造力をもち実行していくこと。それらが未来への唯一の道であり、希望そのものなのでしょう。これからどうかその希望を、次世代へつないでほしいと思います。

最終回

被災地の未来を考える

バイオディーゼル燃料を使ってガソリンスタンドに一度も寄らず車で地球一周したのち岩手で震災に遭遇。現在、岩手県釜石を拠点に支援活動を続け、海と山をつないだ未来循環型の地域づくりに力を注いでいる。

山田周生

一般社団法人 United Green 代表

フォトジャーナリスト

シリーズ
西淀川記憶あつめ隊
Vol.14



鎌田 智都子さん

あおぞら財団があるのは西淀川の千舟という地区です。同じ千舟に雑貨と喫茶のお店「カマタ商店」があります。喫茶を担当している鎌田智都子さんにお話を伺いました。

2015年8月19日
聞き取り

と、「歌島橋の交差点は立派で、区役所やヤナセや銀行がたくさんあったけれど、表通りから一筋中にはいつたら工場ばかり。普通の家がなくて、民家と工場が一体になっていてところが多かったんです。何とていっても子どもがいない地域でした」と工場が多かった印象を話してくれました。

◆窓が開けられない

生活する中で大変だったのはやはり空気のことだったようです。「引越した当時はハードのコンタクトレンズをつけていたのだけれど、自転車で買い物に行くとき、道路をトラックが走るとたん、目にゴミが入って痛くて痛くて目が開けられない。それが毎日だからコンタクトレンズを入れるのをあきら



◆発展する場所

なぜ西淀川にきたのですかと問うには「ここが商売するの



カマタ商店 <http://www.kamatasyouten.com/>

◆憩いの場所をつくる

「JRの東西線ができると聞いた時には、ほんまに当たったなああって思ったわ」とお茶目に笑ってくれました。「私が引越した時は、新しく移り住んだ人が珍しい目で見られることが多くて、千舟に住んでいる人が少なかつたから村みたいな場所やっただけで、東西線の御幣島駅ができてからは、新しい人が増えたね」と、ここ10年に工場からマンションに建て替わって町がコロッと変わってきたとのこと

に将来的に発展する場所っていわれたのよ」とのこと。

昔は住居兼店舗で自営業をしていましたが、今はカマタ商店としてカフェになっています。「女性が一人で入れるような喫茶店がこのあたりはなくなってね。このお店が子育て世代のお母さんたちの憩いの場になっているのを見て、あの頃欲しかった場所を作れてうれしい」とほほ笑んでくれました。

工場街から住宅街に変わっていくある町ならではのエリアソードだなと感じたヒアリングでした。



ありがとうございます

(2015年3月～2015年5月 敬称略・順不同)

- 入会**
 - 福島 幸宏
 - 古賀 崇
 - 南 聡一郎
 - 吉村 良一
 - 新田 保次
 - 神戸 秀彦
 - 浅井 真二
 - 川崎 美栄子
 - 清水 万由子
 - 植田 和弘
 - 片岡 直樹
 - 早川 光俊
 - 櫻井 次郎
 - 柏原 愛子
 - 森山 正和
 - 逢坂 隆子
 - 金谷 邦夫
- お助けボランティア**
 - 大野 みさ子
 - 岡村 裕成
 - 左成 志朗
 - 岡崎 久女
 - 山下 晴美
- 寄附・寄贈者**
 - 環境再生保全機構
 - 金沢大学日本史学研究室
 - 藤井 克己
 - 笑福亭 仁勇

緑道散歩



中島大水道跡の碑の前で笑福亭仁勇さんの説明を聞く

中島大水道サロン作成「まち歩きマップ」お披露目イベントを開催しました(5/31)。江戸時代から今にいたるまでの中島大水道の歴史や昔の写真、現在の水道跡を歩くための情報をまとめたマップは頒価200円で販売しています(A4版、観音開き8ページ)。お問い合わせは、あおぞら財団まで!

りべら No.137 2015年9月号(季刊1日、年4回発行)

発行所:公益財団法人公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人:田代 優秋
〒555-0013 大阪市西淀川区千舟1-1-1あおぞらビル4階
TEL 06-6475-8885 FAX 06-6478-5885
http://aozora.or.jp/ webmaster@aozora.or.jp
デザイン:(株)バード・デザインハウス
会員の購読料は会費に含まれています。
本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



第1弾 リベラ読者アンケート

前号2015年5月号(136号)のリベラで行った「リベラ読者アンケート」に、22名の方からご回答頂きました。ありがとうございました。その結果の一部を紹介いたします。

- 読者年代**
30～40歳代が全体68.1%
 - 20歳代 1名
 - 30歳代 6名
 - 40歳代 4名
 - 50歳代 5名
 - 60歳代 3名
 - 70歳代以上 2名
 - 無回答 1名
- 読者のお住いは?**
全国広報誌ですね!むしろ西淀川区内が少ない!?
 - 西淀川区 4名
 - 西淀川区外の大阪府内 8名
 - 大阪府外 7名
 - 無回答 3名

●今後、取り上げて欲しいテーマは?

読者は区外が多いけど、やっぱり“西淀川”に関することが多いですね。

- 西淀川にいる昆虫のこことについて知りたいです。
- 区内の何気ない場所をもっと取り上げてほしい。
- 学校情報(小、中、高校、専門学校全般)、どのような取り組みをしているか等
- 環境改善のとりくみのなかで、どのように地域が変化してきたか、地域の人たちの生活とのかかわりでのレポートを、たのしみしています。
- 小さなコーナーでよいので、財団に関わってきた人の今を知りたいです。財団での活動がどう今につながっているのか…。かきながら思いましたが、内輪受けになるので、あまりよくないかもしれません。
- いろんなことが知りたいです。自然、生き物に興味があります。あと、食べ歩き等、おいしいお店紹介とか…
- 最新の中国公害事情

みなさま、ありがとうございました。
これら以外の詳細な結果はこちら



第2弾 あおぞら財団アンケート調査 あおぞら財団に一言!

「あおぞら財団って何をやってる団体なの?」と20年が経ちますが、聞かれます。そこで、皆さんからみてあおぞら財団ってどんな風に見えるのか、是非、一言お願いします。叱咤激励でも、ひとこと物申す!でも、どんなご意見でも歓迎ですので、よろしくお願いします。



「一言」は
こちらから

スタッフツイッター 編集後記

温厚敦厚——自分よりも40歳も年上の方から「お元気ですか、連絡ください」と時々メールをもらう。それがいつも、悩みを抱えている絶妙な時なので驚く。こんな年のとり方をしたい。

ディサービスセンター

あおぞら苑





あおぞら御膳

あおぞらの湯

【お問い合わせ】
TEL:06-6475-0111 FAX:06-6475-0114
URL:http://aozoraen.com/
運 営:NPO法人西淀川福祉・健康ネットワーク

◆あおぞら苑(事業所番号 2771001076)
〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目7番14号
開所曜日:月曜日～土曜日(祝日は開所) 利用人数:1日18人

◆あおぞら苑II(事業所番号 2771001407)
〒555-0031 大阪市西淀川区出来島1丁目2番4号
開所曜日:月曜日～金曜日 利用人数:1日20人

2006年10月1日にディサービスセンターあおぞら苑は産声を上げました。西淀川公害裁判で四半世紀命をかけて闘った患者さんや家族のみなさまの思いが、ひとつの形になったのがディサービスセンターあおぞら苑です。公害患者さんも高齢になり日々の生活を援助するために、また地域のみなさまが誰でも利用でき、「西淀川に住み続けて良かった。」と思えるようにとの思いがたくさん詰まった場所にしたいと思い設立しました。

●● Hamada Kagaku ●● 広告

廃棄物でお困りなら 浜田化学のコンシェルジュに お任せください



廃食用油
リサイクル

使い終わった廃食用油



食品残渣
リサイクル

加工中に発生した食品残渣



廃棄物
リサイクル

その他の廃棄物

お客様に最適なメニューをご提案いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

浜田化学株式会社 ☎06-6411-3457 <http://www.hamadakagaku.co.jp>

西淀川菜の花プロジェクト

～エコでつながる西淀川～

【廃油回収量】
総合計29,637ℓ
(2009年7月から2015年8月まで)

| | |
|--------|--------|
| 2014年度 | 7,064ℓ |
| 2013年度 | 7,344ℓ |
| 2012年度 | 6,472ℓ |
| 2011年度 | 3,986ℓ |
| 2010年度 | 2,509ℓ |
| 2009年度 | 1,517ℓ |

現在西淀川区内外55箇所、廃油を回収しています。
回収団体募集中。詳しくはあおぞら財団まで。
西淀川菜の花プロジェクトブログ
<http://nanohanany.blogspot.jp/>

〈広告募集〉企業・団体・個人の皆さま

あおぞら財団の活動周知のため
「りべら」発行部数増にご協力ください。

「りべら」は、あおぞら財団が取り組む環境活動やまちの情報を伝える機関紙として、年4回(季刊)発行し、あおぞら財団会員様をはじめ、公共施設・店舗・各種施設にて配布しています。あおぞら財団の活動拠点である大阪市西淀川区を中心に、環境問題や地域再生に取り組む様々な方々に登場いただき、環境の取り組みやまちづくり活動の輪をつなぎ、広げていきたいと思っております。

現在、より多くの方に読んでいただけるよう、発行部数増をめざしています。(1500部→3000部)。

あおぞら財団の活動趣旨に賛同いただき、ともに環境活動に取り組んでいただける企業・団体・個人の皆さまから「広告費」という形での協賛をお願いできればと思っております。

いただいた資金は、本「りべら」の紙面の充実・印刷費として活用させていただきます。あわせて定期購読、会員も募集中です。どうぞ、ご協力をお願いします。

【りべら広告掲載費】
中面1/9頁:1万円/回
中面1/3頁:3万円/回
中面 全面:9万円/回
お問合せ先:あおぞら財団まで
TEL06-6475-8885

